

令和6年度区外施設定期監査の結果に係る措置状況報告書

目黒区教育委員会

1 指摘事項

指摘事項は該当なし。

2 意見・要望事項

(1) 施設の活用について

意 見 ・ 要 望
区では、豊かな自然環境を生かした体験活動や異なった環境における集団生活を通じ、児童・生徒の自然を愛する心や環境を保全する態度、自律の精神や協調性、規範意識等の育成を図るため、興津自然学園及び八ヶ岳林間学園等を活用し、平成23年度から全区立小中学校で自然宿泊体験教室を実施している。
興津自然学園では、主に小学校4年生及び6年生の自然宿泊体験教室が実施されており、前回監査を実施した元年度以降の参加人数をみると、元年度2,787人、2年度は新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の影響により事業中止、3年度1,106人（6年生のみ実施）、4年度1,345人、5年度1,358人（4・5年度は4年生は事業中止）であった。
2年度以降の自然宿泊体験教室は、コロナの影響により、事業を中止又は縮小しての実施となっていたが、従前から日程面や宿泊行事における様々な負担の軽減等が課題となっていたことから、児童・生徒の発達の段階などを考慮し、実施場所や実施日数の見直しが行われた。
6年度からは、小学校4年生が1泊2日から日帰り、小学校6年生及び中学校1年生が3泊4日から2泊3日（5年生は2泊3日で変更なし）での実施となっており、小学校特別支援学級（4校合同）の自然宿泊体験教室は、これまでと同様に興津自然学園又は八ヶ岳林間学園での隔年実施で、6年度は八ヶ岳林間学園で実施予定となっている。
この結果、6年度に興津自然学園で自然宿泊体験教室を実施する区立小学校は、5年生が2校、6年生が17校で、元年度と比較すると年間の施設利用日数は大幅に減少しており、施設の年間利用状況をみると、元年度は22.8%、2年度はコロナの影響により事業中止、3年度は13.1%、4年度は14.5%、5年度は14.7%と低い利用状況が続いている。こうしたことから、区立学校の利用実績がない7月から8月にかけての夏季休業日や、11月から翌年3月までの施設の有効活用が課

題となっている。

区立学校以外の興津自然学園の使用については、平成24年度に、目黒区興津自然学園宿泊室の目的外使用許可の手続等に関する要綱を定め、これに基づき実施しているが、目的外使用できる団体は、区内の青少年団体等のほか、教育長が必要と認める場合に限られており、元年度以降は区内の青少年団体等の利用実績もない。

このため、施設の有効活用に向けては、対象団体に対して団体利用が可能であることの周知に努めるとともに、利用可能な団体の範囲拡大等も含め、必要に応じて要綱の見直しを検討し目的外利用の促進を図られたい。

所 属 名	措 置 状 況
学校運営課	<p>施設の目的外使用の促進は、学校が宿泊事業を実施していない夏季休業期間や、11月から3月までの期間が主となる。</p> <p>目的外使用の利用団体数の増加に比例し、受託事業者や職員の業務量も増加することから、管理委託内容や職員体制の見直しを検討する必要性が生じること、それに伴う維持管理経費等の増額への対応等が課題となる。</p> <p>これらの課題の対応を検討しつつ、まずは、現行の職員体制と管理委託の状況を考慮し、可能な範囲で目的外利用の促進を図っていくとともに、今後の八ヶ岳林間学園及び興津自然学園の2施設の施設維持の必要性の検証結果を踏まえつつ、有効活用の方法等を含めた在り方を検討していく。</p>

(2) 施設管理について

意 見 ・ 要 望

自然宿泊体験教室に参加する児童等が、施設を安全・安心に利用できるよう、法令等に基づく点検を確実に実施し、目視による日常点検等により不具合や劣化の早期発見に努めるなど、適切に施設の維持管理を行う必要がある。

これまで、日常の点検等に基づく修繕工事のほか、前回監査以降、2年度にトイレの手洗い蛇口自動水栓取替工事、4年度に屋内運動場のエアコン改修工事、5年度に北棟屋上防水改修工事が実施されるなど、施設の改善等にも取り組んでいる。今後も施設課等と連携し、施設の安全性の確保と円滑な利用に向けて適切な維持管理に努められたい。

一方で、自然宿泊体験教室の実施場所や実施日数等の見直しに伴い、区立学校の利用がない時期がかなりの期間あることから、目的外利用の状況も踏まえて、管理委託料等の維持管理経費の縮減を意識した取組も必要である。

4年5月に改定した区有施設見直し計画では、今後も施設を維持し続ける必要性を検証し、民間宿泊施設の活用など、効率的な事業展開を検討するとしていることから、区有施設見直しの検討状況も踏まえながら、安全性の確保に留意しつつ、施設の維持管理

について、委託業務内容の見直し等を検討されたい。

所 属 名	措 置 状 況
学校運営課	<p>当施設の維持管理については、自然宿泊体験教室に参加する児童等が施設を安全・安心に利用できるよう、今後も施設課等と連携し、施設の安全性の確保と円滑な利用に向けて適切な維持管理に努めていく。</p> <p>一方で、自然宿泊体験教室の実施日数の見直しに伴う、維持管理経費の縮減について、区立学校の利用がない時期の機械警備委託導入による人件費の削減等を検討しているところだが、管理人の季節雇用や避難所としての迅速な災害対応等が課題となる。</p> <p>これらのことと勘案しつつ、今後の委託業務内容の見直し等については、八ヶ岳林間学園及び興津自然学園の2施設の施設維持の必要性の検証結果を踏まえつつ、有効活用の方法等を含めた在り方とともに検討を進めていく。</p>